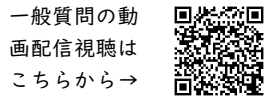


# 議会報告 6月報

第2回定例会が、6月6日から20日まで開かれ、松岡議員は「生活保護制度」、「非核平和事業の充実」、「図書館について」を一般質問しました。



一般質問の動画配信視聴はこちらから→

## 生活保護は生存権を守る「最後の砦」

長期化するコロナ禍において、追い詰められ苦しんでいる市民が増加しているのではないかとの思いもあり、松岡議員は「生活保護制度」について、

と感ずること等が原因で、捕捉率（生活保護の利用資格がある人のうち、実際に利用している人の割合）が低いことも認識している。

② 国の基準に沿った適正な運用をしている。

③ 扶養照会の運用方法を「保護のしおり」やHP

に追記する。

④ 生活保護申請の権利については、HPや啓発冊子等で周知する。

との答弁でした。

生活保護は、憲法25条で明記された国民の生存権を守る「最後の砦」です。しかし、日本の捕捉率は約2割と、ドイツ（6割）やフランス（9割）等と比べてかなり低いのが現状です。

そこで松岡議員は、生活保護利用の最大の阻害要因と言われる「扶養照会」につ

- ① 海津市内の利用状況。
  - ② 扶養照会（申請者の親族に援助ができないか問い合わせること）の運用状況。
  - ③ 扶養照会の運用変更（昨年からは、扶養義務履行が期待できない人の範囲の拡大と明確化、また要保護者が扶養照会を拒んでいる場合に、理由を丁寧に聞き取るといった柔軟な運用に変更の「保護のしおり」やHPへの明記。
  - ④ 「生活保護の申請は国民の権利」と呼び掛けるポスターやチラシの作成、その他広報の強化。
- を質問・要望しました。
- 市長からは、
- ① 相談件数、保護件数とも増加傾向にある。また、生活保護のハードルが高い

## 議案等に対する各議員（会派）の対応

議案名など (伊藤誠議長は表決権なし)	共	市民		f	無	無	無	無	幸	公	政
	松岡議員	藤田議員	川瀬議員	二ノ宮議員	古川議員	片野議員	北村議員	小粥議員	伊藤久議員	浅井議員	政和会4名
一般会計補正予算（第3号）	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
一般会計補正予算（第4号）等 10件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

\*会派：共＝日本共産党、市民＝市民の声、f＝for かいづ、無＝会派に属さない議員、幸＝幸福実現党  
公＝海津市議会公明党、政＝政和会・清流くらぶ

\*政和会4名：服部議員、橋本議員、里雄議員、水谷議員

■松岡議員が反対した議案・・・令和4年度一般会計予算（第3号）

反対理由：国からの新型コロナ対応地方創生臨時交付金が、電気自動車購入やマイナンバーカード普及事業等に使用されるため。特に、賛否のあるマイナンバーカードを市民へ普及させたいために、同交付金を使って新規取得者へ商品券を交付することはおかしいと考えます。

非核平和事業の充実

ロシアによるウクライナ侵略に終わりは見えません。この侵略で、改めて平和の尊さを感じるとともに、平時の外交努力、日常的に平和を愛する心を育んでいくことがいかに大切かを感じ知らされます。

松岡議員は、非核平和都市宣言をしている海津市として、市民、特に子どもへの非核平和教育を充実させてほしいとの思いから、

① 非核平和に関する読書会や映画会等の開催

② 原爆・パネル展や資料展の開催・協賛

③ 今年8月に計画している。

また、平和企画展も開催する。

② 以前からイベント開催場所を無償提供する等協力しており、引き続き市民団体等と連携し、非核平和事業の開催に取り組む。

と前向きな答弁でした。

図書館について

今年3月をもって平田図書館は閉館となったものの、同月に海津市は「読書のまち宣言」をして、読書に親しめる環境づくり等に努めているとしていました。

そこで松岡議員は、読書活動推進のための取り組み等を教育長に尋ねました。

教育長からは、旧平田図書館の蔵書約8万6千冊のうち、1万冊を市内3か所（働く女性の家、南濃コミュニティセンター、ふれあいセンター）に新たに設置する「子ども向け学習スペース（WiFi環境も整備）」において学習用図書として活用することや、利用者が伸び悩むデジタル図書館の普及活動、また海津図書館にWiFi利用可能なテラス席の設置や図書自動貸出機導入、全支所での予約配本サービスの実施等を行う旨の答弁がありました。

さらに、市長へ「こども図

書館」への思いを尋ねたところ、「子どもたちの学びの場となるよう、ワークショップ等で多くの意見を聞いて計画を策定したい」との答弁でした。

◆非核平和に関するイベント  
\*場所はいつでも海津図書館2階  
○8月3日14時  
映画会「この世界の片隅に」  
\*開演前に読み聞かせ有（主催：海津市）  
○8月6日12日9時（8日は休）  
平和となかま展  
（主催：新日本婦人の会）

第1回臨時会報告

4月21日に臨時会が開催され、一般会計補正予算（第1号）の議決等がされました。

一般会計補正予算（第1号）は、「松風苑」及び「はつらつ」の民営化に伴うものを含め、約3千万円の追加補正をするものです。

両施設は、職員不足等のため経営困難となっており、今後経営改善の見込みも期待できず、市民の負担はさらに大きくなると推測されます。松岡議員は、職員不足のため利用者を増やせない現状を打開することが、市民や施設にとって重要なことではないかと考え、民営化に伴う利用者の大幅な負担増はないと判断のうえ、賛成しました。